

今回の報告書では、現在履修している各科目について、私が現在住んでいる寮(PAR)、ボストンキャリアフォーラムについて報告したいと思います。

Mechanical Engineering 340: Dynamics of Mechanical Systems

この授業は1週間にLecture 3時間と2時間のLabから構成されています。授業がどんどん進み、かなり大変になってきました。毎週水曜の宿題の提出、金曜日の小テスト、2週間に1回のLabに合わせて、宿題をすることにすごく時間を割いています。講義に参加する学生の数が減ってきているような気がします。

EALC 250: Introduction to Japanese Culture

日本文化のクラスです。講義内容は歴史や文化、文字など様々です。日本の縄文時代の話が始まったと思ったら、2つ後の授業は室町時代という、ものすごいスピードで進んでおります。この科目は講義だけで構成されています。昨年度のこの科目は講義とディスカッションで構成されていたので、そちらの方が授業の内容の理解を深めるにはいいと思っています。現在は明治時代の勉強中です。

PHYS 140: How Things Work

物理の授業です。この授業は1週間に2時間のLectureと1時間のDiscover Classで構成されています。現在は波長に関する授業が進行中です。Discovery Roomsでは、液体窒素を使ったりヘリウムガスを使ったりと、いろいろな実験を行っております。かなり楽しい授業だと思います。

ESL 114: Academic Writing

この授業は1週間に2時間のLectureで構成されています。授業内容は、英語のアカデミックライティングについてです。現在はAPAの文献の引用について勉強しています。

現在受講しているクラスを通して思ったことを書きたいと思います。講義の進度はかなり速く感じます。講義だけでは教えられる範囲に限りがあるため、宿題は毎週課され、さらに講義では習ってない範囲も確実に出題されます。学生達は、先生のOffice Hourを有効的に活用しているような感じがしました。とくにLabが含まれる授業ではTAに質問を頻繁に行っているような気がします。また、TAのOffice Hourも活用しています。大学院生と学部生の距離が近いような感じがします。

PAR (Pennsylvania Ave. Residence Hall)

歴代の金沢工業大学からの派遣留学生はほとんどがSharmans Hall、もしくはDaniels Hallに住んでいたのですが、私の現在住んでいるPennsylvania Ave. Residence Hallについて報告したいと思います。場所は工学系の建物からかなり遠いPAR(The Pennsylvania Avenue Residence Hallsの略)です。



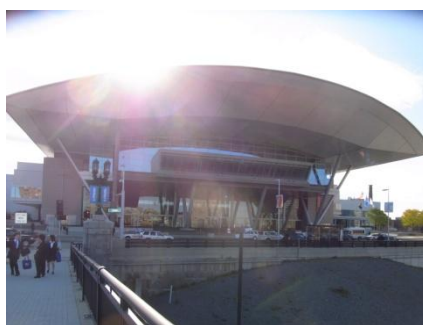
PAR は基本的には学部1年生,2年生専用の寮で,おそらく6つもしくは5つ年下の方たちに囲まれて生活しております。また,この寮はシングルの部屋がないため,ルームメイトがいます。ルームメイトは1歳下の韓国人の子です。彼はトランスファーしてUIUCに入学したようです。部屋の様子は上写真のような感じです。冷房はないので,夏は寝るのが大変でした。暖房の設備は整っているのですが,強弱を調整したり,切ったりすることができません。寒い夜でも,暖房の暑さで汗を大量にかいてしまいます。夏学期に住んでいた Daniels Hall は大分恵まれている環境だと実感しました。キャンパスの中心に行くにはバスを使います。PAR 前にはバス停があり,ILLINI,TEAL,SILVER の3種類のバスが行き来します。

Boston Career Forum 2010

ボストンキャリアフォーラム 2010 に行ってきました。ボストンキャリアフォーラムとは毎年ボストンで行われる日英バイリンガルの学生を対照に行われるジョブフェアの事です。

サイトはこちら→<http://www.careerforum.net/event/bos/>

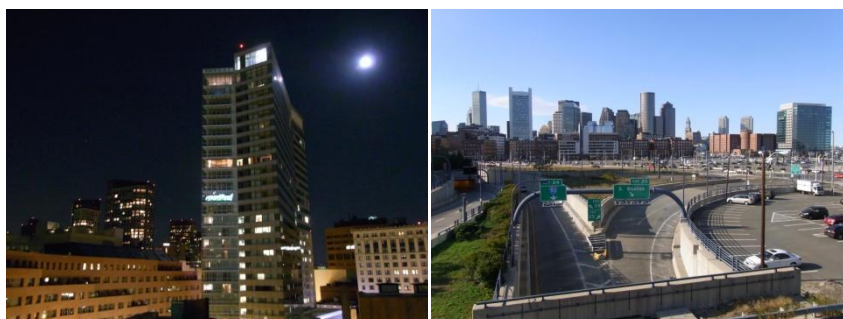
今年は全部で132社にも及ぶ会社が参加しておりました。ほとんどが日本の会社で,アメリカの会社もいくつか参加しておりました。日本人の学生の参加が大半でしたが,アメリカ人,中国人,韓国人,インド人なども結構いました。ボストンキャリアフォーラムのために日本から来ている学生もいると聞きました。



内部は写真撮影が禁止だったので載せることができません。簡単に説明すると,各会社にブースが置かれ会社説明会が行われます。各企業のブースエリアの雰囲気は日本のリクナビの企業説明会とあまり変わりありません。しかしながら,講堂を使用した長時間の会社セミナーや,筆記テストを行うためのエリア,また,面接を行うためのエリアなどがありました。これは大きく違いますね。一時帰国を行う年末年始などにさらに面接を行い,内定を出すというのが一般的だと思いますが,2011年5月までに学位を取得する方のなかで,うまくいけばその場で内定が頂けるということも聞いています。でもその時間がない学生もいるということで,3日間行われるこのフォーラム内で2回もしくは3回

の面接、そして筆記試験を行う会社もあります。参加している会社はそれぞれの学生に合わせて柔軟に対応しているのだなと思いました。

ボストンキャリアフォーラムに参加して思ったことを書きます。まずボストンについて。私が泊まったホテルはフォーラムの会場から車で10分程度のところでした。



ボストンはとても寒かったです。甘く見ておりました。シカゴに比べ、町は小さいです。空気もよく、すこし落ち着いた印象を抱きました。

ボストンに住む人々の特徴は、シカゴに比べ太った人をあまり見なかったような気がします。そして、J-walk が当たり前。(J-walk と痩せた人が多いことには関連性があるのでしょうか?) タクシーの運転手は必ずシートベルトをしていない。以上です。観光を目的としていないため、観察することはあまりできませんでした。

ボストンとキャリアフォーラムと全く関係ないことを書きます。簡単に言うとアメリカの企業体制についてでしょうか。予め言っておきますが、私がこれを思ったのは特定の会社であり、連続して何回も起こったことでなく一時的なことなので、断言しているような感じに書きますが、この文章で変な偏見を持たないでください。ボストンにはバスと飛行機を使って行ったのですが、それは帰りに起こりました。12:30pm オヘア空港発,PAR 行きのバスを利用して帰る予定でした。それが待っても来ず、一緒に待っていたU I UC の学生(後で発覚)がバス会社に連絡していました。彼は親切に、私が一緒にバスを待っていることを確認した後で、そのバスはなんらかの手違いから45分の遅れが発生することを知らせてくれました。しかし我々が待っていたバスは45分経っても来ませんでした。最終的には1:50pm にバスが来ました。荷物をバスのお腹に入れ、予約シートを持ってドライバーに見せると、あなたの予約番号ないわね。乗りたかったら10ドル支払うように言われました。はい? いやいや、待たせたんだから、そっちがこちらに金返さないって思いました。それは我々が待っていたバスではなかったんですね。定期便なので、次のバスが来たんです。私は事のできをドライバーに説明しました。ドライバーもセンターに連絡し確認。10ドル支払うことなくバスに乗れました。当然です。でもドライバーは「私は悪くないわね」と謝りませんでした。日本なら考えられませんか。自分がしていなくても、仲間のミスなら申し訳ございませんと必ず言うでしょう。これが一連の出来事だったのですが、私の感じたことは、個人主義を強く感じたこと、もちろん私を乗せてくれたドライバーは何も悪くないのですが、彼女から発せられた言葉からそのように感じました。我々のバスはどこに行ったのでしょうか? まあ無事帰れたのでよかったです。帰りのバス内は、1:50pm オヘア発のスケジュールで各バス停から乗ってくる人と、私と同様に各バス停でバスを待ち続けた人とで満員になりました。全員分のシートがあってよかったです。